

農業体験や料理教室による消費者理解の促進

環境にやさしい農業体験や環境にやさしい農産物を活用した料理教室を実施し、消費者理解の促進を図る。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

環境に配慮して生産された農産物を消費につなげるためには、消費者の理解が極めて重要である。

このため、みどりの食料システム戦略推進鹿児島連絡協議会の構成員や一般消費者を対象にした農業体験や料理教室を実施し、環境にやさしい農業や農産物について、消費者が考えるきっかけを作る。

○ 取組の内容

協議会の構成員である南さつま市と自然農法・オーガニック野菜推進委員会の協力を得て、有機たまねぎの収穫・有機さつまいもの植付け体験を実施するとともに、そこに参加した構成員である湧水町が独自の取組として、地元小学生を対象に有機じゃがいもの植付け・収穫体験と試食会を実施。また、構成員である県栄養士会と連携し、環境にやさしい農産物を食材とした料理教室を開催。

○ 効果・成果、今後の方向性

農業体験や料理教室を実施したことで、環境にやさしい農業や農産物の理解につながる機会を提供することができた。また、構成団体（湧水町）が独自に有機農産物の植付け体験や試食会を実施するなど、活動の広がりがあった。今後も関係者が連携し、環境にやさしい農業や農産物への理解を深める取組を協議会事務局として支援する。



湧水町：有機じゃがいもの植付け体験



湧水町：収穫した有機じゃがいもを用いた料理の試食会



料理教室の様子



料理教室で使用した有機、IPM農産物等

体制図

みどりの食料システム戦略推進鹿児島連絡協議会（消費分科会）

